

União Nacional de Camponeses (UNAC モザンビーク全国農民連合) プロサバンナ事業に関する声明

我々、モザンビークの全国農民連合（UNAC）に加盟するナンプーラ州農民支部、ザンベジア州農民支部、ニアサ州農民連合、カーボデルガード州農民連合の農民は、2012年10月11日にナンプーラ市に集まり、プロサバンナ事業に関する議論と分析を行った。

プロサバンナ事業は、モザンビーク共和国、ブラジル連邦共和国、日本の三角事業であり、約1400万ヘクタールにも及ぶニアサ、ナンプーラ、ザンベジア州の14郡を対象とするナカラ回廊開発のための巨大農業開発事業である。

当該事業は、ブラジルのセラードにおいてブラジルと日本の両政府によって実施された農業開発事業に触発され行われているものである。今日セラードでは、単一作物（主に大豆）の大規模な商業農業が進み、環境破壊や同地に暮らしていた先住民コミュニティの壊滅をもたらした。ナカラ回廊地域は、ブラジルのセラードと類似するとされる気候上のサバンナ性や農業生態学的な特徴、国際市場への物流の容易さにより（当該プロジェクト地として）選ばれた。

プロサバンナ事業について耳にするようになってからというもの、本事業関係者（モザンビーク、ブラジル、日本の各国政府）からの情報と透明性の欠如は顕著なものとなっており、そのために今回の会議が開催されることとなった。

我々モザンビークの小規模農民は、透明性が低く、プロセスのすべてにおいて市民社会組織、特に小農組織を排除することに特徴づけられるプロサバンナ事業の立案と実施の手法を非難する。

プロサバンナ事業に関する包括的な分析に基づき、我々小農は以下の結論に至った。

- プロサバンナ事業は、ナカラ回廊の小農自身のニーズ、展望、基本的な懸念を考慮しないトップ・ダウン式の政策の結果である。
- 我々は、単一作物（大豆、サトウキビ、綿など）の生産を行う大規模農業プロジェクトのため、コミュニティの移転や小農の土地を収用しようとするイニシアチブを強く非難する。
- 我々は、アグリビジネスを目的とし、モザンビーク人小農を被雇用者や農業労働者に変えるブラジル人農家の入植を非難する。
- 我々は特にプロサバンナ事業がナカラ回廊地域の広大な土地を必要としていることを懸念する。地域の実態として、そのような広大な使用可能な土地はなく、土地は地元小農が休閒農法を営むため現在使われているのである。

プロサバンナ事業の立案と実施プロセスにおいて顕著になった事業形態を踏まえ、我々小農男女は、（当該事業により）次のような影響が予想されることに警鐘を鳴らす。

- 土地の収用と移転の結果、モザンビークで土地なしコミュニティが現れること。
- ナカラ回廊周辺およびそれ以外の地域における頻繁な社会的動乱の発生。

- 農村コミュニティの困窮化と自給自足のための選択肢の多様性の喪失。
- 利権争いと汚職の増加。
- 化学肥料や農薬の過剰使用の結果としての土壌劣化と水資源の汚染。
- アグリビジネス事業のための森林伐採による生態系バランスの崩壊。

モザンビークあるいはナカラ回廊地域に投資するのであれば、地元の小農による農業や経済が発展するよう適切に行われるべきであり、それを要求する。それこそが、尊厳ある安定した生活を可能とする唯一の農業であり、農村人口流出を防ぎ、モザンビークの全国民のために高い質の十分な量の食料を生産し、食料主権の達成の道に貢献する。このように、我々、UNAC 並びに Via Campesina のメンバーは考える。

我々は、今後もモザンビークにおける農業開発のオルタナティブとして、食料主権に基づく、小農主体でアグロエコロジー的な生産モデルへの強くかつ忠実なコミットメントを継続する。このモデルは、すべての面で持続可能性を考慮し、実践においても自然に寄り添ったものである。

小農による農業は、地域経済の支柱であり、農村における雇用の維持と増加に貢献し、都市や村落の存続を可能にする。小農同士の協働が、自身の文化やアイデンティティを強めることを可能とする。このオルタナティブな開発政策モデルは、社会的にも環境的にも持続可能で、民衆の現実のニーズや課題に基づいて組み立てられたものでなければならない。

農民は生命や自然、地球の守護者である。家族経営に基づく小農の運動としての UNAC は、小農の根源的性格に基づいた生産モデル（土壌の尊重と保全、適切で適正な技術の使用、参加型で相互関係に基づく農村開発）を提案する。

現在、国連は、FAO（国連食糧農業機関）を通じ、世界の 8 人に 1 人が飢え、特に開発途上国が飢餓に苦しんでいると報告しており、モザンビークもこれに含まれる。したがって、我々は次のことを表明する。モザンビーク政府の優先順位は、家族経営の小農による国内消費のための食料生産であるべきであり、社会の多様な分野を包摂し内発的な潜在性を発展させることを試みるべきである。

UNAC 25 年に及ぶ食料主権のための農民の闘い！

よりよい正義、豊かさ、連帯に基づく社会の創造のため、農民を主人公とするための闘い

2012 年 10 月 11 日 ナンブーラ

下記原文（ポルトガル語）並びに英語版より和訳

<http://www.unac.org.mz/index.php/7-blog/39-pronunciamento-da-unac-sobre-o-programa-prosavana>

<http://viacampesina.org/en/index.php/main-issues-mainmenu-27/agrarian-reform-mainmenu-36/1321-land-grabbing-for-agribusiness-on-mozambique-unac-statement-on-the-prosavana-programme>